

ねあらい

学園だより

浜松市根洗学園

住所：〒433-8108

浜松市北区根洗町667-1

TEL:053-436-9318

FAX:053-436-9326

在籍児71名（1月28日現在）

◇毎日通園

年長児20名 年中児24名

年少児23名 2歳児4名

◇選択通園 らいおん29名 にじ19名

フレンズ17名 子じか86名

◇親子教室ねあらい 85名



年のはじめに



新しい年を迎えました。皆様一人ひとり今年はどんな1年を過ごそうかを考えられたことと思います。私自身も健康であることと日々生活している実感を持って過ごしたいと願っています。良い年になるよう、心よりお祈り申し上げます。

児童福祉法が改正されました。制度や仕組みが「障害」の視点から、「子どもの育ち(発達)」に視点が変わりました。ライフステージに合わせた長い見通しの中で「今を考える」視点も取り入れられています。これまでの形との変化の中で、試行錯誤しながら改正したことを理解し実行しようとしています。

特に大きく変わったことは、計画相談や支援計画です。子どもや家族の将来を描き、それを実現するためにはどんなことが必要なのかを考え計画を立てていく取り組みです。まだ将来について考えられないと感じる方もあります。「まだ、わからない」と。ですが、児童福祉法改正の中には、「障害だからこれしかできないんだ。こうするしかないんだ」というあきらめにも感じられる「～～だから、こうするしかない」というとらえ方からの脱却が盛り込まれているのです。本当に好きなことをあきらめなくてもよいようにするには、どんな工夫や仕組みを創ればよいのか。子どもや家族が「～したい」と考えることを実現するための環境づくりにどう取り組んでゆけばよいかを具現化する時代に向かっていきます。

これまでの福祉のとらえ方が、地域での生活を視野に入れたことで、変わろうとしています。ですから、皆さん一人ひとりが「～したい」「こんなことがあったらよい」ということを声にだしていただき、将来に向かっての設計図（計画相談・支援計画）を共に創ることに大いに参加していただきたいです。過去10年20年前と今が変わってきているように、これからの10年20年先も「今」の取り組みで変わっていくでしょう。将来を見つめながら、今年も丁寧に積み重ねてゆきたいと気を引き締めています。

具体的には、進級や学校などの新しい環境への準備が始まります。学園でのこれまでを振り返り、「これから」に向けて、様々な角度から見つめなおし、GOを確認してゆきます。

我が家流・わが子流の再確認を丁寧にいきましょう。新しい年の初めに、心新たに、「今年」を共にスタートさせたいですね。

どうか、今年も、学園の事業に忌憚のないご意見・ご協力をお願い申し上げます。

施設長

松本 知子



2月の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
						1 からだあそび教室 (集団) 療育ことばの教室
2 父親参観会	3 父親参観 振替休日	4 実績確認印 おひさま(もも) (~14日)	5 音あそび (みどり)	6 三方原幼稚園 親子交流 避難訓練	7 三方原幼稚園 来園交流 親の会役員会	8 子じか 療育ことばの教室
9	10 母親教室	11 建国記念日 療育ことばの 教室	12	13 手づくり クラブ	14	15 療育ことばの教室
16	17 おひさま (みどり) (~24日) ことば・歯科医師の話	18 お別れ遠足	19 音あそび(もも)	20 職員会議 ☎	21	22 からだあそび教室 (個別) 療育ことばの教室
23	24 アート (きい・みどり)	25 小児神経科 相談 きい懇談会	26 短縮日課 (~28日)	27 誕生会	28 2月利用実績回収 3月利用予定提出 浄化槽完成予定	

※児童福祉法に関する実績確認印、予定表・報告書の提出日へのご協力をお願いします。バスの添乗職員へ忘れずに提出して下さい。

◎利用料の未納者には市より督促状が郵送されます。再度、利用料の領収書を確認して下さい。

◎カレンダー内の電話マーク ☎ の日は、職員会議のため15:30以降お電話に出られない場合もありますのでご理解とご協力をお願いします。

◎豆まき 2月2日(日)父親参観会の日に一年の健康を祈って豆をまきます。みんなで鬼を退治しよう。

◎三方原幼稚園親子交流 2月6日(木)にあります。活動は、お店屋さんごっこを予定しています。室内で行いますので上靴をご用意ください。希望される方は、2月4日(火)までに生活記録にてお知らせ下さい。

◎三方原幼稚園来園交流 三方原幼稚園の子ども達が学園に来て、一緒にあそびます。

◎2月26日(水)~28日(金)は**短縮日課**です。帰りが**1時間早く(13:30)**になりますのでご協力をお願いいたします。

<実習・福祉体験>

◎浜松大学 2月4日~19日 きい1名・みどり1名

◎聖隷クリストファー大学 2月10日・12日 もも1名 13日・14日 もも1名

2月24日・25日 みどり1名

あそびボランティア：毎週水曜日13:00~14:30

子じかボランティア：毎週水曜日15:00~17:00



母 親 教 室



- 日 時 2月10日(月) 10:10~14:20
- 場 所 集会室(ぱんだ)
- 目 標 一年間一緒に過ごしてきたお母さん方と思い出作りをしましょう!
- 日 程 10:10~ はじめの会「手あそび、ちょこっといい話、ワンポイントレッスン」
- 10:40~ 職員の話
- 11:00~ お楽しみ作品展☆
- 内容「一人ひとり、切って貼って描いてわが子を作ろう!」
- 12:00~ ランチタイム
- 13:00~ 一年後の自分へ手紙を書こう
- 13:30~ お別れセレモニー
- 内容「皆勤賞授与、一人一言メッセージ」
- 14:20~ 感想用紙記入

おすすめ絵本とそのヒミツ

持ち物 ・はさみ、のり、筆記用具、手あそび集

お知らせ ・ランチタイムに工房めいさんによるパン販売があります。ご利用される方はどうぞ☆

・全体集合写真を注文されて代引きがお済みでない方は550円を持ってきてください。

その他 ・出欠、登園方法を1月31日(金)までに生活記録表にてお知らせください。

・兄弟の託児を午後のみ(13:00~14:30)こあらにて行ないます。

希望される方は1月31日(金)までにお子さんのお名前、年齢をお知らせ下さい。

持ち物：託児代200円、子どもの名札、ハンカチ、お気に入りのおもちゃ、子どもの飲み物

1月の母親教室の感想

- ・入園した頃から知っている同じグループのお母さんのお話は特にその子の今の姿を見ているのもあって、まるで親戚のような気持ちで成長に感動し、胸が熱くなりました。
- ・お母さんの話、それぞれ3年間の間に少しずつ成長している、成長できるんだと思いました。
- ・お好み焼き作り楽しかったです!子どもたちが食べているものと同じものを食べられるのはすごく良い体験でした。
- ・豆腐を入れるのはびっくりだったけど、家でもやってみようと思いました。
- ・ことばの話、もっと聞きたかったです。この一年の成長を振り返りながら聞けて良かったです。学校に上がるまでに!と焦ってしまうのですが、焦らず、会話を楽しんだり、おしゃべりしたい気持ちをつぶしてしまわないようにしたいなと思いました。

~お知らせ~

今回、1月の母親教室で行った「ことばの話」の続きと、年度初めのアンケートで多かった「歯科医師の話」を行う機会を設けました。日程は以下の通りです。「歯科医師の話」では、子ども達の歯科健診を行ってくださった先生が歯について大切なお話をしてくださいます。ことばの話では食を取りながらのお話になりますのでお弁当を持参ください。多くのご参加お待ちしております。

日時 2月17日(月) 11:00~14:00

場所 集会室(ぱんだ)

日程 11:00~12:45 ことばの話(園長先生)

13:00~14:00 歯科医師の話(歯の健康センター 石川先生)



ほけんだより

気温がぐっと下がり、寒い日が続いています。
 学園では、まだインフルエンザと診断されたお子さんは見られていませんが、突然の高熱や、頭痛、関節痛、ぐったりとした感じなどの強い全身症状がある場合はインフルエンザの可能性あります。早めに受診をしましょう。

<最近の病気の傾向>

★囑託医の先生に聞きました★

水ぼうそう、胃腸炎、インフルエンザ、ノロウイルスが流行しています。手洗い・うがい・消毒を徹底して、休息をたっぷりとり、抵抗力をつけていきましょう。また、便がゆるい、気持ちが悪いなどの症状が出たら、早めに受診しましょう。

いわゆる“かぜ”との違い

インフルエンザはインフルエンザウイルスによっておこる気道感染症(いわゆる“かぜ”)の仲間で、通常は3～5日間発熱が続いた後、自然に治ります。風邪とは違い有効な抗ウイルス薬があります。



- 【1】一生のうちに何度もかかります。例えば、H1N1(新型と言われていたA型)、A 香港型、B 型と最大3回感染する場合があります。
- 【2】感染力が強く、主に冬季に地域や学校で流行します。潜伏期間は1～2日間と短く、家族感染も多く見られます。
- 【3】予防接種が有効です。
- 【4】全身症状が強く出ます。
- 【5】合併症(気管支炎、軽度の肺炎、中耳炎など)がよくみられます。

以下のような症状を認めたらもう一度受診しましょう。

- ☐ 手足を突っ張る、がくがくする、眼が上を向くなど、けいれん症状がある。
- ☐ ぼんやりしていて視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど、意識障害の症状がある。
- ☐ 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある。
- ☐ 顔色が悪い。唇が紫色をしている。
- ☐ 呼吸が速く(1分間に60回以上)、息苦しそうにしている。
- ☐ ゼーゼーする、肩で呼吸をする、全身を使って呼吸をするといった症状がある。
- ☐ 「呼吸が苦しい」、「胸が痛い」と訴える。
- ☐ 水分が取れず、半日以上おしっこが出ていない。
- ☐ 嘔吐や下痢が頻回にみられる。
- ☐ 元気がなく、ぐったりしている。



発達支援広場



たんぽぽ広場

1歳～就園前

日程：6、13、20、27日

ねらい：友達と楽しくあそぼう

スタッフとお話ししよう

活動：音楽あそび、運動あそび

お話し会(月1回)

親子教室ねあらい

1歳～就園前

日程：3、4、5、7、12、14、17
18、19、21、24、25日

ねらい：着席ができる。

チャレンジができる。

活動：造形(おひなさま)、おやつ作り(ホットケーキ)、OBのお話し会、運動あそび

キラキラ発表会

12月22日（日）に「みをつくし文化センター」で『平成25年度 キラキラ発表会』が行われました。

“一人ひとりがかがやく発表会”をテーマとし、発表会を行いました。日頃の練習の積み重ねを自信につなげ、各グループそれぞれの子どもたちがその成果を惜しみなく発揮することができました。同時に、子どもたちの成長も感じられる発表会になりました。それぞれのグループの様子をお伝えします。

ももグループ 大きなかぶ

うんとこしょ、どっこいしょ。まだまだかぶはぬけません。—『おおきなかぶ』はももグループのみんなが好きな絵本のひとつです。このお話を題材にした発表では、かぶ作りを通して楽器や三輪車、雑巾がけ、お友達を呼ぶこと、重たいものを運ぶこと、お友達と一緒に運ぶことなど、子ども達が好きなこと、できるようになったことを披露しました。

練習を始めた当初はまだ戸惑いがちだった子ども達。前へ出てその場に立ち尽くしてしまったり、周りの様子をキョロキョロと見てうかがったり、サーっと走り去ってしまう子がいました。しかし、「よいしょ！よいしょ！」「大きくなーれ♪」「うんとこしょ！どっこいしょ！」とリズムの良いかけ声と共に練習を重ねていく中で、自分の出番になると前へ出て役をおこなうことができるようになりました。自分の出番以外の役をやりたくなったときも、先生と一緒にかけ声をかけたり、「かぶを抜くから待っててね」などと声をかけると待つことができるようになりました。

本番当日はお父さん、お母さんと別れて泣けてしまう子が多かったものの、リハーサル室で絵本を読んだり、先生とあそぶ中で徐々に涙も見られなくなり、全員が舞台に立つことができました。観客の皆さんに手を振ったり、舞台に立つことがうれしくて少し寄り道をしたり、緊張から今にも泣きそうなのをこらえていたり、“その子らしさ”が表れた発表でした。その中でみんなに共通して言えることは、もっとお友達を好きになったこと、目的の活動を成し遂げることができるようになったことだと思います。



きいグループ にんにんにん！～忍たま、ただいま修行中～

今年のテーマは「にんにんにん忍たまただいま修行中」でした。「なんで忍者なの？」と思う方もいたのではないのでしょうか。運動あそびの活動の中で、4月頃はできなかったジャンプができたり、平均台をすり足で渡ったりする姿がみられるようになったこと、職員との関わりの中で、カーテンや、毛布にかくれ「どーこだ」と隠れてあそぶ姿がありました。時には抱っこしようとした職員をすり抜けて逃げることも。そんなみんなの普段の様子をみて、職員はみんなを忍者に変身させよう！と思いテーマを決めました。

忍者に変身したみんなは、お父さん、お母さんの見守る中、涙も見せずにステージにたちました。一人一人の見せ場のあとの会場からの拍手と歓声はとても大きく、子どもたちにも“できた”“やった”ということが伝わったのではないかと感じています。

そして個々の見せ場だけではなく、職員や友達と一緒にやる経験もしました。練習を重ねていく中で、次の出番が誰かということが分かってきたようで、職員が次に出る友達の名前を呼ぶ前からその子の背中を押して出番を伝えている様子が見られました。友達がステージにはけることを嫌がっていると「ちょっと呼んでくる」と迎えに行く子もいました。お父さんやお母さんの知らないステージ袖でも、なかなかステージに出て行けない子に「がんばって」と応援したり、ステージに立っている子に手を振ったり、できたよと戻ってきた子にハイタッチをするみんなの姿がありました。運動会から3ヶ月、周りを見る力がついてきたり、友達と一緒にやる姿が見られるようになったことに成長を感じました。



みどりグループ おいしいポップコーンができるまで

年少、年中の時はリハーサル室での分離で泣ける子が多くいました。年長になるとお母さんや家族の「がんばってね」の声かけに「バイバイ」「いってきます」と答えたり、ハイタッチをしたり泣かずに分離できる姿を見て、さすが年長さん！とたくましく感じられた場面でした。

みどりグループの演目は「おいしいポップコーンができるまで」でした。舞台袖にスタンバイ中も緊張することなく、ひょっこり顔をのぞかせて客席の確認をしたり、「次はだれ〜？」と自分の出番が来るのを待っていました。

一輪車で土運びの場面では友達が土を運び終わるまで待つ姿、種運びの場面では友達とペースを合わせ、種が落ちないようにタオルを持ち続けました。勝ち負けのつくお相撲の場面では、負けて悔しくてもしっかりと頭を下げてあいさつをし友達と一緒に退場する姿には心の育ちが感じられました。また太鼓の場面では隣の子のバチの動きをみながら太鼓をたたき分ける姿があり、周りを見て真似る力が身についてきたのだと思いました。

ご家族の皆様、当日の応援、衣装の準備等ご協力ありがとうございました。



クリスマス会

今年のクリスマス会は、各グループのスキップの日に行われました。

クリスマスツリーが飾られ、クリスマスソングが流れる部屋にトナカイさんとサンタさんが登場すると、子どもたちは大喜び！拍手をしたり、飛び上がったり、それぞれの形で喜びを表現していました。

サンタさんが、背負った袋からプレゼントを一人ひとりに手渡すと、みんな「ありがとう」としっかりお礼を伝えることができました。

子どもたちはプレゼントが嬉しくて笑顔になり、それを見ていた大人たちも、子どもたちの喜ぶ姿に笑顔がこぼれたうれしいひとときでした。



アンケート集計結果について

昨年11月に保護者の皆様にご協力いただきました、アンケートの集計結果について報告致します。

平成25年11月実施 浜松市ねあらい学園利用者アンケート結果 回収率70%

事業内容・療育内容＜ソフト面＞		設備・建物、遊具等＜ハード面＞	
評価 8, 3点（10点満点）		評価 6, 7点（10点満点）	
行事全般について	6件	教室、建物について	24件
職員の対応について	55件（複数回答）	中庭などの遊具について	10件
療育について	22件	駐車場・設備について	6件
その他		その他	

28日（火）の全体懇談会においてアンケートの集計報告、それに伴う懇談を予定しています。皆様からの忌憚のないご意見をお聞かせください。お寄せいただいた貴重なご意見は今後の施設運営に活かしてまいります。ありがとうございました。



青空クラブ



12月23日（月）に今年度最後の青空クラブがありました。当日は、43家族106名（大人51名、子ども55名）、でんでんむしの会の方12名（大人7名、子ども5名）、ボランティアさん18名の参加がありました。

グラウンドでの親子マラソンから始まり、なかい屋呉服店様のクリスマスチャリティーセレモニー、でんでんむしの会の皆さんによるハンドベルとピアノの演奏と、内容豊富な1日でした。

でんでんむしの会の演奏は今年で4回目となります。ざわざわしたところもあり、もう少し静かに聞けるとよかったというご意見もいただきましたが、ハンドベルの澄んだ音はとてもきれいでした。

その後に、みんなでお餅つきをしました。今年は飛び入りでたくさんのお父さんたちにもお餅をついてもらいました。ありがとうございました。家ではお餅を食べない子も学園のお餅はたくさん食べる、といった感想をいただきました。



『クリスマスチャリティー』

ありがとうございました

浜松市中区葵東商店街のなかい屋呉服店様よりチャリティー募金をいただきました。今回で4回目となり、毎年お餅つきに合わせて訪問していただいています。「学園の子どもたちのために」と、店内に募金箱を置いてお店に来てくれるお客さんに募金を呼びかけてくださいました。子どもたちのために、大事に使わせていただきます。ありがとうございました。





大豆の話

みんな大好き♡

- ① 鍋に大豆と半量の砂糖を入れ、豆が浸るくらいの水を入れ、弱火で水分が無くなるまで煮る。
- ② 残りの砂糖ときな粉を別容器で合わせておく。
- ③ ①が冷めたら、②をまぶす。

納豆
きな粉
みそ
醤油
油
豆乳
おから

豆腐 { 高野豆腐
厚揚げ
油揚げ
がんもどき
ゆば

